

## 「土壌の物理性」検索システム

溝 口 勝\*

Search Engine for "Journal of the Japanese Society of Soil Physics"

Masaru MIZOGUCHI\*

\* Department of Biological and Environmental Engineering, The University of Tokyo,  
 1-1-1 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8657, Japan

### 1. はじめに

土壌物理学学会の学会誌「土壌の物理性」は1959年に創刊された。創刊当初の古い文献の中には、今では当たり前に使われている測定法の原理を記述した原著もあるが、それらは各所に散在し、図書館で探すのも難しくなっている。そこで、土壌物理学学会事務局を引き受けたのを機会に、「土壌の物理性」の掲載された論文を創刊号から最新号まで電子化し、インターネット上から一括して検索できるようにした。本論では、そのシステムの構成と利用法について紹介する。

### 2. システムの構成

本システムではクライアント・サーバ方式を採用している。利用者はWebサーバにアクセスして、指定された手順に従って操作するだけで検索結果を得ることができる。検索用プログラムと文献データベースはCGIサーバで一括管理されている。古い文献には手書きのものも含まれているので、スキャナーで300 dpi画像として読み取りPDF化し、各論文ごとにファイル名をつけた。これらの電子化作業は、冊子を丸ごと切断し、オートシートフィーダー付きのスキャナーにかけることで行った。

### 3. 利用方法

検索システムは以下の手順で利用できる。

- (1) インターネットを利用して土壌物理学学会のホームページにアクセスする。  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssp3/>
- (2) 「土壌の物理性」論文リストをクリックする。
- (3) 論文リストが現れたら、どれかの論文を選んでクリックする。

(4) ユーザ名とパスワードを聞いてくるので、ここに学会誌とともに土壌物理学学会員に送付される予定のユーザ名とパスワードを入力する。(Fig. 1)

(5) PDF化された論文が表示される。ただし、論文を正しく表示するためには各自のコンピュータにPDF表示ソフトをインストールしておく必要がある。

(6) 論文リストページの上にある「検索用ツール」をクリックすると、巻別またはキーワードごとに検索ができる。

(7) 巻別検索を選択した場合、ユーザ情報を入力窓に記入後、調べたい号の一つ選んで、「検索開始」をクリックする。

(8) キーワード検索を選択した場合、ユーザ情報を入力窓に記入後、検索したいワードを入力し、「検索開始」をクリックする。検索ワードは3つまで指定可能で、名

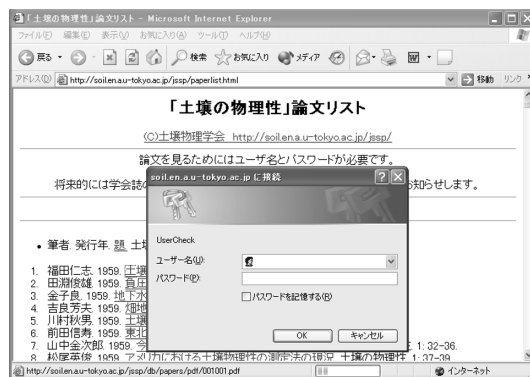


Fig. 1 土壌物理学学会のホームページ

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssp3/> にアクセスして、「土壌の物理性」論文リストをクリックし、ユーザ名とパスワードを入力。

前・専門用語・所属など語句の一部だけを入力すればよい。(Fig. 2)

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://soiltena.aur.tokyo.ac.jp/jssp/Ab/search.html>. The page content includes:

「土壌の物理性」論文検索ページ

土壌物理学会誌「土壌の物理性」に掲載された論文を検索することができます  
創刊号(1959)～

著者名・論文タイトルなどの一部の検索文字を入力後、[検索開始]ボタンを押して下さい。  
複数の条件を入力するときは「-」を再して下さい。

ユーザ情報の入力  
氏名:  必ず記入  
所属:  必ず記入  
メールアドレス:  必ず記入  
 会員  非会員

検索文字の入力  
1:   
2:   
3:

Produced by mizo(2001.9.27)

**Fig. 2** キーワード検索のページ  
ユーザ情報を記入後、検索ワードを入力し、「検索開始」をクリックする。

#### 4. 本システム公開の意義と問題点

「土壌の物理性」の著作権は土壌物理学会に帰属する。したがって、学会として本システムを認知しさえすれば著作権問題には抵触しないと思われる。こうした点を考慮しながら 2001 年度総会では、1 年前までに発行されたものに限定して検索システムを試験的に公開することが承認された。この決定により、土壌物理の存在が広く他分野の人々にも知ってもらえる機会が増したことになる。もちろん、正会員にとっては検索システムによりこれまで以上に論文が読めるようになったのに加えて、最新の論文を従来通りの冊子体で読めるというメリットがある。新規データの登録やシステムのメンテナンスなどいくつかの問題は残されているが、89 号以降の号については、PDF ファイルを印刷所から納入してもらうようにした。

本システムにより、「土壌の物理性」に掲載された論文の被引用率が高まり、投稿数が増え、土壌物理学会がますます発展することを期待したい。

受稿年月日：2002 年 9 月 13 日

受理年月日：2002 年 12 月 9 日